

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 25 年度の事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 つどい

1 事業の成果

平成 25 年度は、地域住民と共に行う事業を多岐に展開することができた。地域リソースや資源の発掘、地域支え合いの関係性など住民の自立支援の成果はみられる。その成果の一つとして住民企画のイベントの増加、趣味の活動から仕事へのステップアップなどが見られた。地域間交流活動では、居住地範囲から市町村単位、他国と様々な交流を介した事業を行政や多様な関係機関と共に展開した。結果、視野の拡大と共に、自己のブランドや価値の対象化が図られた。多様な主体との協働運営の形態を持つことで、大槌への関心を継続して持つ機会と震災の風化を防ぐことにもつながっている。


今年度の成果として、震災後地域における住民がまちづくりへ参画してく基盤が形成されつつある。それらを醸成してく為の居場所づくりへの理解と効果への期待を次年度の活動に繋いでいく。


2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業



◆事業名 (定款に記載した事業)	地域住民の自立支援事業 ・地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業 ・町民活動の拠点と地域間交流のサポート事業
事業内容	震災後の地域資源見直し、地域福祉の向上を図る講習会等開催する。健康と防災意識を高める情報提供とその対策の啓発。地域住民の交流イベント企画運営や、地区行事のサポート実施。地域住民の支えあい構想の実施とする。地域住民の集まる場づくりを通して自立支援の様々な活動を展開する。
受益対象者の範囲及び人数	4100 人 大槌川流域の近隣住民を中心とした大槌町全世帯
事業費の金額(千円)	4305


地域住民の自立支援事業 詳細①～⑥

具体的な事業内容①	① 大槌のお楽しみ市～何あんだべえ～（8回開催） ：地域間交流、手仕事技術工場・情報交換
実施日時	4月28日、5月26日、6月23日、8月4日、 9月15日、10月13日、11月10日
実施場所	きらり福幸商店街 白澤伝承館
従事者の人数	出店者 160人（20人/回）スタッフ 40人（5人/回）
受益対象者の範囲及び人数	1500人（180～200人/回）
	<p>交流人口増加がみられる。地域住民ばかりでなく、観光バスの乗り入れもある。地域商店街の協力も受けられる。出店者で、一般の店に商品を出す方、インターネットは他県のイベントへの参加する出店者があった。仕事としてのステップアップがあった。</p> <p>こども達から大人まで参加する世代交流が見られる。地域住民への認知度は上がり、口コミによる参加も増える。</p>

具体的な事業内容②	② 健康増進・心のケアサポート ：健康意識付け、地域セーフティーネット再構築
実施日時	6月7・8日、8月9・10日、10月25日、1月17・18日
実施場所	大ヶ口集会所 大槌中央公民館武道室 会議室 エールサポートセンター 大ヶ口復興公営住宅集会所
従事者の人数	述べ35人（4～5人/回）
受益対象者の範囲及び人数	200人
	<p>ヨガ教室の開催：心身のストレス緩和、ヨガインストラクター（ココフルプロジェクト）協力の下開催。在宅や役所、支援員へ向けに開催。</p> <p>支援員や介護施設スタッフのスキルアップとしてクラスを持ち、日々の業務へ応用を試みる。</p> <p>公営住宅集会所での開催は、特に新たな住民との顔合わせの機会をもち住民交流の機会をつくる。</p>

具体的な事業内容③	③ 地域イベントへの運営サポート ：地域間交流 地域力発掘とその支援
実施日時	下記参照
実施場所	大槌町内
従事者の人数	60 人
受益対象者の範囲及び人数	1300 人
<p>8 月 4 日：夏祭り</p> <p>8 月 8 日：水鉄砲大会</p>  <p>9 月 5 日/1 月 17 日：書道</p>  <p>12 月 7 日：どんぶり祭</p>  <p>12 月 21 日：サンタ企画</p> 	<p>会場：福幸きらり商店街 地域住民参加を促進し、イベント企画より加わり地域リソース活用促進を図る。</p> <p>会場：和野っこハウス</p> <p>Peace&Apple（学生団体）との共同事業。地域間交流、夏休み子供たちの遊びを通じて交流を図る。遊び場と機会の支援となる。</p> <p>学生側へは、被災地理解の情報提供を行う。</p> <p>[大槌] 書家今柄紫峯氏の書道ワークショップ開催。</p> <p>会場：つどい事務所 大ケロ多目的集会所</p> <p>主催：関西大学</p> <p>復興公営住宅と、既存の地域の方々との交流接点の促進。音楽や書道などの趣味的活動の場で、和やかな新たな地域関係性構築となる。</p> <p>[大槌]福幸きらり商店街 2 周年イベント参加協力</p> <p>会場：福幸きらり商店街駐車場</p> <p>地域参加者への打診や広報などこれまでの地域ネットワークの強化ともなる。</p> <p>[大槌]サンタが町にやってくる。Peace&Apple（学生団体）との共同事業。子供を中心とした交流活動。</p> <p>継続的な関係性の構築、地域住民の世代間交流の促進となる。</p>

<p>具体的な事業内容④</p>	<p>④ 地域サークル・町民活動サポート ：地域間交流促進、地域リソース発見促進 ボランティア受け入れにおける防災教育等</p>
<p>実施日時</p>	<p>下記参照</p>
<p>実施場所</p>	<p>日時に付随記載 [] 内</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>10 人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>500 人</p>
<p>通年事業：</p> <p>4 月 21 日：イベント参加</p>  <p>7 月 14・15 日：共生の森ワークショップ</p> <p>10 月（1 ヶ月）：</p> <p>10 月 12 日：わらび学園祭</p> <p>11 月 16 日：自治会文化祭</p> <p>11 月 19 日：交流活動</p> <p>11 月 23 日：交流活動</p> <p>3 月 11 日：11 の灯り</p> 	<p>地域住民参加を促進し、既存のネットワークの再構築。住民主体性を持つ地域活動の促進と継続方法へのサポート。</p> <p>[つどい事務所内] 町民写真家写真展示 町の風景、町の記憶をサロンで話すきっかけづくり。</p> <p>[東北 3 県] 復興グルメグランプリ参加。町の特産商品開発とお楽しみ市参加者のフォロー</p> <p>通年を通し、F 1 グルメ復興グランプリへの参加の為、大槌の地域団へ声掛けや商品の検討会参加。広報や商品ラベル等の作成協力。</p> <p>[吉里吉里] 共生の森ワークショップでの地域の暮らしについて講演する。協力団体として参加。</p> <p>J I C A エジプト他協力隊員受入れ、町内情報発信。4 名が地域活動に関わる。</p> <p>[大槌] 会場スタッフとして会を盛り上げる。</p> <p>[大槌] 桜木町自治会文化祭へ協力 町民の作品展示集めと呼びかけ</p> <p>[大槌・釜石] 外国人ボランティア受け入れ、町内視察と情報提供。</p> <p>[大槌] 明治学院大学 国際交流と被災地での活動の意見交換会（学生 15 名）</p> <p>[大槌] 11 の灯り 住民有志による鎮魂の灯りイベントの開催。準備～当日運営参加。</p>


具体的な事業内容⑤	⑤ 支え合い構想「お互い様精神」募金活動 ：国や県・世代を超えての交流 支え合い構想の促進
実施日時	下記参照
実施場所	日時に付随記載 [] 内
従事者の人数	2人
受益対象者の範囲及び人数	(一)人
	募金活動：お楽しみ市開催日 直近の被災地への義援金を集め関係機関を通じて送金する。 4月28日→中国四川の洪水被害 6000円 (AMDA) 5月26日→中国四川の洪水被害 5500円 (日本赤十字社) 8月4日→大槌北小きらり福幸商店街 2350円 9月17日→岩手県豪雨 5500円 (日本赤十字社) 10月15日→トルコ地震 6800円 (AMDA) 12月3日→フィリピン洪水 10626円 (AMDA)

具体的な事業内容⑥	⑥ 地域情発信 ：地域発信、震災や地域理解促進
実施日時	下記参照
実施場所	兵庫県神戸市、大阪府、盛岡市、静岡県、
従事者の人数	10人
受益対象者の範囲及び人数	600人
6月2日：出展	[神戸市] 灘チャレンジ特別出展 震災の現状写真 会場：神戸大学 被災地間の情報発信と交流。
7月6日：講演会	[大阪府] 三大学連携事業講演会 会場：関西大学 東日本大震災を中心とした住民の取りくみについて報告会に参加。
8月9日：講演会	[盛岡市] ガールスカウト講演会 会場：盛岡市青少年会館 海外とつながる仕事 キャリア教育の一環としての講演
10月18日/11月8日：ネット会議	[大槌-大阪] 関西大学ネット会議 被災地の現状と課題について、学生と話し合いをインターネットを通じて行う。
11月2日：講義・報告会	[名古屋] 日本の被災地の現状について報告 会場：日本福祉大学院
11月21・22日：講演会	[神戸市] 全国防災自治会全国大会参加 多様な担い手による/地域住民から防災への取り組みにつ


12月4日：講義	いて 会場：神戸ポートタワービル [静岡] 東北で地域をつなぐ講義参加 会場：静岡県立大学
3月22・23日：講演会	[大阪府] 大槌町支援する会プログラム/青年との対話集会（講演会・展示会）会場：河内長野市
通年通じての活動	HPの作成依頼、ブログやフェイスブックによる活動の発信を行う。支援者への報告、新たな支援・協力者への情報発信となる。 つどいHP http://tudoitunagu.jimdo.com/

◆具体的な事業内容 AAAプログラム事業	AAAプログラム事業 ・大槌町内生徒学生への学び・部活動支援 ・仮設小学校内図書館制作と継続的運営サポート ・地域住民交流促進の仕組み形成
実施日時	通年
実施場所	主に大槌町内 岩手県内
従事者の人数	18人
受益対象者の範囲及び人数	1700人 大槌町内小・中・高校全生徒、大槌町内住民
事業費の金額(千円)	4050

以下、**AAA事業**の詳細①～③

具体的な事業内容 AAAプログラム	① スマイル図書館作成プロジェクト
実施日時	5月～7月
実施場所	大槌小学校仮設校舎内
従事者の人数	10人
受益対象者の範囲及び人数	600人
	仮設の学校の図書館作成。子供たち、学校、図書ボランティアの方々との意見を組み入れた新たな図書館備品とその環境整備を行う。7月8日 図書館が会館。 図書管理や図書当番は、図書ボランティアト生徒自身で行う仕組みづくりとなる。生徒の興味を駆り立てる居場所づくりに大きな役割を果たす。 ※アミューズ音楽界全体でAct Against AIDSとして行っているチャリティコンサート支援：町の子供たちやまちづくりへの基金

具体的な事業内容 AAAプログラム	AAAプロジェクト ② 学生・生徒学習支援（校外学習・部活動支援）
実施日時	5月～11月
実施場所	大槌小学校 大槌中学校 大槌高校
従事者の人数	3人
受益対象者の範囲及び人数	900人
大槌小学校 特別支援学級 大槌中学校  大槌高校 	<p>学習支援用品・教材を支援で購入。 床のマット、生活を学ぶための教材、学習ドリルなど 校外学習支援 中学1年と2年教育における経験を重視した授業を行い、震災で十分とは言えないスペースでの活動を補い情緒教育にもつなげるための費用支援する。</p> <p>◆校外学習支援 ①『早池峰山登山記録』 開催日時：2013年9月6日 対象：1年生 80名</p> <p>◆校外学習支援 ②『宿泊研修 葛巻農園』 開催日時：2013年9月2日～3日 対象：2年生 85名 行程：岩手テレビ見学・搾乳体験・餌やり体験など</p> <p>大槌高校 学習・部活動支援として物品の購入 バレー部 野球部 サッカー部 卓球部 弓道部 柔道部 野球部 インターアクト部 美術部 書道部 大槌高校の1～3年生まで多くの生徒に活用されている。</p>

具体的な事業内容 AAAプログラム	③ 地域交流促進事業
実施日時	平成26年1月～3月
実施場所	大槌町内一円
従事者の人数	5人
受益対象者の範囲及び人数	200人
	<p>地域サロン運営 新たな、居場所づくりに向けての準備。 地域館交流会の開催し多様な背景の地域住民との交流を促進する。地域情報の提供や地域のリソースや文化歴史などを集めることより、新たなまちづくり応用していくヒントも見出していく。</p>


3月6日：地域交流会







[大槌] 大阪 11 の会、三重県支援者、地域住民、みなし仮設住民等交流会 会場：臼澤伝承館

◆具体的な事業内容 11のつどい		岩手県共同募金会 NPO活動支援助成金 11のつどい	
実施日時		平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	
実施場所		大槌町内	
従事者の人数		200 人 (平均 10 人/回)	
受益対象者の範囲及び人数		500 人 大槌川流域住民を中心として、大槌町内全域	
事業費の金額(千円)		360	
		<p>今後のまちづくりに、住民の考えや大槌の風土を活かし、自分達の町を思い描く事、合わせて 3 月 11 日を風化させないため、毎月 11 日に集まりを企画。参加者が、住みよい安心な町を語りそれを記録していく。</p> <p>全 15 回開催 (平均 1 回/月)、冊子 1000 部作成、DVD 協力：映像おおつち</p>	
日にち	テーマ	備考	会場
4 月 11 日	昔の暮らしの振り返る	震災により、昔の暮らしの豊かさについて考える	つどい事務所
5 月 11 日	昭和 20 から 30 年代の暮らし	昭和 20 年代頃の日常のあたりまえ、暮らしの知恵を学ぶ。	つどい事務所
6 月 11 日	水のある暮らし① 海・川・湧水	湧水の活用。水と暮らしのつながりや知恵を集める	襲岩仮設団地集会所
7 月 11 日	水のある暮らし②	魚業との関係 「漁師の掟」「暮らしの中の決まり事」	襲岩仮設団地集会所
8 月 10 日	山のある暮らし	海や浜、山の暮らし各地域における役割や決まり事など話す	大ヶロ多目的集会所
9 月 6 日	人の集まる仕組み「祭り」より学ぶ①	漁業の町ならではの風習や地縁由来の伝統芸能について	中央公民館会議室
9 月 11 日	人の集まる仕組み「祭り」より学ぶ②	地域を元気にするヒントを「祭り」を通し見ていく。	安渡小学校仮設集会所


10月11日	地域の食・季節の食材料理	沿岸部の郷土料理の成り立ちや、暮らしや風習を話す機会	大ヶロ多目的集会所
11月25日	津波より学ぶ事①	震災経験とまちの歴史の伝承方法を考える	中央公民館会議室
12月9日	津波より学ぶ事②	津波や自然災害への教訓を挙げる	つどい事務所
1月18日	年末年始行事	小正月を学ぼう！伝統行事と家族	大ヶロ多目的集会所
1月23日	年末年始行事・昔の生活設計	残したい事。津浪の経験を、これか らに伝える方法検討	巖岩仮設団地集会所
2月18日	理想としていく暮らし	伝えていく・風化させないために は、何をしたらいいのか？	オガサワラ写真
3月7日	まとめ	暮らしの知恵、暮らしの豊かさにつ いて振り返る。	オガサワラ写真
3月31日	報告会	全体を振り返る	巖岩仮設団地集会所

◆具体的な事業内容 ACHR事業	ACHR事業 アジア女性の交流（スリランカ被災地間視察研修）
実施日時	6月～9月
実施場所	スリランカ、日本（東京・釜石・大槌）
従事者の人数	20人
受益対象者の範囲及び人数	300人 大槌・釜石在住 女性を中心とした住民
事業費の金額(千円)	0（ACHR負担）
	<p>主催：特定非営利活動法人つどい/ACHR 協力：岩手国際交流協会、大槌町女性6団体、(社)三陸人つなぎ学校、(社)おらが夢広場、スリランカ女性組合、郷土料理研究会、日本福祉大学、JOCA、misereor</p> <p>7月末：一般公募 アジア女性交流事参加募集 8月19日：壮行会 釜石市役所関係部署同席。渡航の打ち合わせ会も兼ねる。 8月24日～9月1日：スリランカへ渡航(8日間) 大槌・釜石女性4名。スリランカの津波被災女性たちの先を中心に訪問。魚の加工品や手工芸品を行う作る女性グループを訪問視察。女性組合メンバーの集まりへ参加し、震</p>

 	<p>災関連の支援体制の変化や独自の生活再建への方法など話し合うことに。</p> <p>9月27日～10月2日：スリランカ訪問日本受け入れ</p> <p>大槌：町内津浪の現状視察 大槌手作り工房・漁業関係機関訪問、交流会</p> <p>釜石：市内視察 白浜方面～橋野（宝来館・どんぐり広場等）視察訪問 活動団体訪問</p>
--	---

<p>◆具体的な事業内容</p> <p>新しい東北事業</p>	<p>新しい東北事業</p> <p>魅力の見せ方出し方講座</p>
<p>実施日時</p>	<p>平成26年3月18・19日 準備 2月～</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌町内</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>4人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>30人</p> <p>大槌町における小規模な事業者または、個人事業者</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>310</p>
 	<p>コミュニティービジネスや新たな商品開発をしている小規模企業等への商品デザインやコンセプトのコンサルテーションを含む講座。商品としてのデザインやコンセプトを中心とした講義と参加者の店舗や作業場へ出向いてのフィールドワークを行う。参加者が具体的に事業へ応用できる個別のアドバイスや、情報ネットワークの構築を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18日講座：20人(オブザーバー2人) 個別：5件 ・19日個別コンサルティング 4件 <p>講座アンケート：これからチャレンジしてみたいことは？</p> <p>回答：パッケージの工夫：6名 大槌らしさの追加：5名</p> <p>新商品開発：3名 生産量の見直し：3名 商品の認知度を上げる：2名</p> <p>ネット販売：2名 商品の質の向上：1名</p> <p>その他：大槌ブランド認定シールの発行</p>

運営協議体としての活動・その他協力

	平成 25 年度復興の担い手の運営強化実践事業 ひよっこりひょうたん塾
実施日時	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	40 人
受益対象者の範囲及び人数	2000 人 大槌町内住民中心 1 割大槌訪問者
	0 (ひょうたん塾運営協議会負担)
	ひよっこりひょうたん島プロジェクト実行委員会の事務局 構成メンバーとなり講座の運営に関わる。ひよっこりひょう たん島のストーリーコンセプトを活かしたまちづくりを 担う人材の育成と、町の資源御発掘を講座と通信発行（冊 子）を町内全域、全国へ発信していく。講座の組み立てか ら運営に関わる人々を町内の若者を中心として募り、まち づくりへの人材育成を行った。 ※運営委員組織メンバーとして参加

具体的な事業内容	大槌町他、各協議会への参加
実施日時	10 月 2 日～3 月
実施場所	大槌町 宮城県
従事者の人数	3 人
受益対象者の範囲及び人数	(一)
	① 大槌町教育委員会・生涯学習課主催 メディアコモンズ (MLA) 検討委員として検討委員会会議へ参加 ② ボランティア連絡協議会への参加 副会長任命 社会福祉協議会事務局で、町内の団体との情報共有や自主的活動への参加 ③ いがす大賞運営協議会メンバーとして参加 12 月 21 日いがす大賞本番[仙台市] 大会に向け、地域の住民が主体となっている活動を取り上げる。岩手県地域の情報提供を中心に行う。

(2) その他の事業

今年度は、実施しなかった。

以上